



# おにぎり通信

2021年4月24日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷・市ヶ谷周辺や銀座・日比谷公園、東京駅周辺などで生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

日	月	火	水	木	金	土
4/25	26	27	28	29 昭和の日	30	5/1
2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子供の日	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

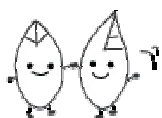
今年のゴールデンウィークは、4月29日(木)「昭和の日」のあと1日置いた5月1日(土曜日)から5日(子供の日)までが5連休になります。福祉事務所で相談や受診などの予定に注意してください。

福祉行動は引き続きお休みします。ただし福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりを持参してうかがった際に、お声がけください。お声がけいただいた場合のみ、翌々日の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

## 最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

むかし<sup>ずいがん</sup>瑞巖というお坊<sup>ぼう</sup>さんがいました。この人<sup>ひと</sup>、毎日<sup>まいにち</sup>自分<sup>じぶん</sup>にむかって「主人公<sup>しゅじんこう</sup>」と呼びかけては、「は〜い」<sup>へんじ</sup>と返事をしていました。ほかに、

「ちゃんと目<sup>め</sup>をさましてるか」

「は〜い」

「人<sup>ひと</sup>にだまされないようにな」

「はい、は〜い」

と、毎日<sup>まいにち</sup>ひとりごと<sup>い</sup>を言っていたそうです。

ちょっと変わったエピソードですが、自分<sup>じぶん</sup>の身<sup>み</sup>に置きかえてみると、ハッとさせられます。ここでいう主人公<sup>しゅじんこう</sup>とは、家庭<sup>かてい</sup>の主人<sup>しゅじん</sup>のことではありません。もちろん、会社<sup>かいしゃ</sup>の社長<sup>しゃちょう</sup>でもありません。人間一人<sup>にんげんひとり</sup>ひとりの主体的な人格<sup>しゅたいてき じんかく</sup>のことです。

私たちは、うっかりすると、時代<sup>じだい</sup>や世間<sup>せけん</sup>に流<sup>なが</sup>されてしまいがちです。また、巧妙<sup>こうみょう</sup>な言葉<sup>ことば</sup>や「それがいまの常識<sup>じょうしき</sup>です」なんて言葉<sup>ことば</sup>を鵜<sup>う</sup>呑<sup>の</sup>みにしたり、外<sup>そと</sup>のものに目<sup>め</sup>を奪<sup>うば</sup>われているあいだに、自分<sup>じぶん</sup>というものをとかく見失<sup>みうしな</sup>いがちです。ですから、自分<sup>じぶん</sup>が自身<sup>じしん</sup>の主人公<sup>しゅじんこう</sup>として毎日<sup>まいにち</sup>を過<sup>す</sup>ごすことはけっして容易<sup>ようい</sup>ではありません。瑞巖和尚<sup>ずいがんおしょう</sup>さんは毎日<sup>まいにち</sup>、「おい、主人公<sup>しゅじんこう</sup>、目<sup>め</sup>を覚<sup>さ</sup>ましてるか」とみずからを呼び覚<sup>よ</sup>ましていたのです。

よ や なかま れんらくさき  
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672

れんらくかのうじかん まいしゅうどうようび ごご じ ごご じ  
連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時~午後6時

ちよ だくこうじまち せい きょうかい  
千代田区翹町6-5-1 聖イグナチオ教会